

令和2年度

単位施策評価表

所属 08100000

都市建設部 道路維持課

施策	1203 河川環境の整備・管理							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	河川における水辺環境の整備、水質の浄化や、地域コミュニティ・ボランティアを主体とした美化活動を推進する。							
成果指標	清掃作業参加人数 5年後(H30～H34)の参加人数15,500人(現状値15,180人)							
目 標 達 成 状 況		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	成果指標1 [人]	予定	15,180.00	15,260.00	15,340.00	15,420.00	15,500.00	
		実績	15,032.00	15,125.00	9,834.00			
	成果指標2 []	予定						
		実績						
	成果指標3 []	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 []	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	21,944	21,474	22,616	0	0	
実績		23,014	21,215	22,616	0	0		
内 部 評 価	貢献度	基本施策の目標値達成には、市民への普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正に行うことが必要であるため、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。						
	達成状況	普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正かつ効率的に行っており、事業・施策とも良好ではあるが、R2は新型コロナウイルスの影響により目標値を下回った。						
	課題	高齢化により清掃活動参加者が減少しているため、今後は自治会・愛護団体以外の関係団体等との連携拡充や、幅広い年代への普及啓発が必要である。						
	取組方針	自治会や愛護団体への手厚い支援及び河川環境向上の啓発活動を実施し、併せて水路等の適正な維持管理に努めることにより、来年度は目標達成に向け事業・施策を進める。						
外 部 評 価								
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	152501	水質調査事業費				6,131	100	
	152502	水質調査事業費(大平)				750	100	
	426101	河川総務事務費				3,298	100	
	426301	河川浄化施設管理費				2,146	100	
	426501	河川・水路清掃事業費				10,370	100	
	421201	永野川桜つつみモデル整備事業費					0	

単位施策評価表 補表

施策	1203 河川環境の整備・管理		
区分	妥当性	妥当	上位施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	河川総務事務費等で経費縮減可能と思われる事業もある。
	受益者負担	適正	負担割合は適正である。
	上位貢献度	有効	単位施策の目標達成度による貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替え事業等はない。
	成果向上の余地	有	水辺環境の整備や河川美化活動、また水質の浄化等を進めることで、河川環境の保全を図ることができる。
内部評価	貢献度	基本施策の目標達成には、市民への普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正に行うことが必要であるため、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。	
	達成状況	普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正かつ効率的に行っており、事業・施策とも良好な進捗である。	
	課題	高齢化により自治会や愛護団体の清掃活動参加者が減ってきている。今後は、自治会や愛護団体だけでなく関係する団体等との連携の拡充や幅広い年代への普及啓発を行うことが必要である。	
	取組方針	自治会や愛護団体への手厚い支援及び河川環境向上の啓発活動を実施し、併せて水路等の適正な維持管理に努めることにより、来年度は目標達成に向け事業・施策を進める。	